

36 すず 錫の器

根気よく、叩いて絞って、一枚の金属板から器を作る、鍛金の技を体験。



<p>体験のポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一枚の金属板を金槌で叩くだけで立体的な形を作っていく、鍛金という手作業の技法により器を作る。 柔らかくて加工しやすい特性と美しい光沢を生かし、昔から食器や酒器に多く使われてきた錫を加工することで、金属を加工するという面白さを体験する。 金槌、当て金、ヤスリ、金切バサミなど金属加工に使用する工具類の使用方法和工具を上手に使いこなすことで作品のできばえが違うことを学ぶ。
<p>工業製品に関連する技能</p>	<p>鍛金、手仕上げ</p>

①オリエンテーション



講師の紹介と金属の特徴や作業手順の説明を聞く。

②ケガキ



錫の板に、コンパスで、絞りの目安線を入れる。

③木床での絞り



木ハンマーで、木床のくぼみに沿わせて叩く。

④絞り・整形



木ハンマーと金槌の角で、当て金との隙間を叩き、絞っていく。

⑤ならし



ナラン槌できれいな槌目をつけながら、成型仕上げする。

⑥底のくぼみ整形



底の部分を叩いて平らにし、器が水平に設置できるようにする。

⑦平面ヤスリ仕上げ



金切バサミで器の上部を水平に切断し、平ヤスリと丸ヤスリで磨く。

⑧片付け・まとめ



「錫」の刻印を打ち、完成。片付け、まとめをして終了。